

平成 27 年 11 月 29 日 (日) 第 10 期アレルギー大学 研究実践講座

記念講演・研究実践報告

認定 NPO 法人 アレルギー支援ネットワーク

会場:名古屋工業大学 4号館 137 大会議室

午前の部 9:15 受付開始

9:30~11:00 記念講演

座長 漢人 直之 かんど こどものアレルギークリニック 院長

「食物アレルギー 最近の考え方」

講師 宇理須 厚雄 氏

藤田保健衛生大学医学部 客員教授

食物アレルギーの対応の基本は原因食品の除去です。しかし、除去食は患者さんやその周囲の者にとって負担がある管理法なので、必要最小限とすべきです。とはいえ、間違っ原因食を食べれば、種々の程度のアレルギー症状が誘発される恐れがあります。そのような症状を引き起こさないようにするための安全対策も必須です。それでは、実際の除去食を必要最小限とするためにはどのようにしたらよいのでしょうか。今日はその方法を解説します。また、最近話題になっている、免疫療法の新しい方法や食物アレルギー発症予防に関する話もします。

休憩 11:00-11:10

11:10~12:20 記念講演

座長 漢人 直之 かんど こどものアレルギークリニック 院長

「最近増えてきた花粉・食物アレルギー症候群」

講師 近藤 康人 氏

藤田保健衛生大学医学部小児科 坂文種報徳會病院 アレルギーセンター小児科

食物アレルギーは 2000 年以降報告数が増えてきています。食物アレルギーでも特に「花粉症に関連した食物アレルギー」が増えてきており、その主要な症状は口腔アレルギー症候群 (Oral Allergy Syndrome) とよばれる口腔内に限局した症状です。OAS の病態が花粉抗原との共通抗原性から発症することから、増加の原因として花粉症患者数の増加が考えられ、加えて大気汚染の影響も関連している可能性があります。講演では、はじめに食物アレルギーについて解説し、増加の原因について仮説を交えてわかりやすく考察します。

午後の部 13:10 受付開始

13:20~14:00 研究報告

座長 和泉 秀彦 名古屋学芸大学 教授

「小麦加工食品におけるアレルギー性の変化～臨床現場への展開～」 13:20~13:40

名古屋大学大学院医学系研究科博士課程 4 年

名古屋学芸大学健康栄養研究所 研究員 田中賀治代 氏

「発酵大豆の機能性解析～抗アレルギー作用について～」 13:40~14:00

名古屋学芸大学管理栄養学部

名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科 講師 山田千佳子 氏

休憩 14:00-14:10

14:10~16:40 研究実践報告 (各 15 分 質疑応答含む)

座長 和泉 秀彦 名古屋学芸大学 教授

1. 「離乳食からのアプローチ」 岸 奈津子
2. 「アレルギー児のおかげで」 鈴木 明美
3. 「乳幼児を育てるお母さん達のアレルギーに対しての考え方と現状」 鈴木 幸恵
4. 「食物アレルギーへの理解を深める活動」 田中 かおり
5. 「3歳未満児専門私立保育園におけるアレルギー対応食の実践」 土佐 高子
6. 「保育園って楽しい！自分もすてき！友達もすてき！」 鳥居 慶子